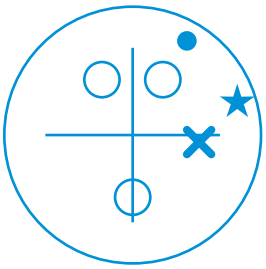
ボールの特性レポート
BALL REPORT

ボール名	投球者	センター
ロイヤル・ベノム	徳江 和則	平和島スターボウル

● ピン　★PAP　✕CG　■バランスホール



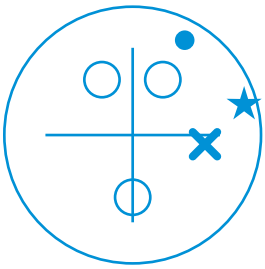
テストボール：ロイヤル・ベノム

フレアーの幅：　インチ

PAPからピンとの距離：4 インチ

表面加工
- ☑箱出し状態
- ☐加工
- ☐ペーパー　番
- ☐ポリッシュ

研磨剤



比較対照ボール：ベノム・ヒステリア

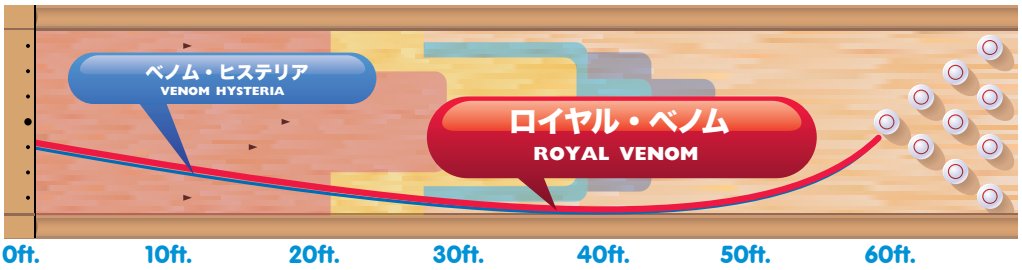
フレアーの幅：　インチ

PAPからピンとの距離：4 インチ

表面加工
- ☑箱出し状態
- ☐加工
- ☐ペーパー　番
- ☐ポリッシュ

研磨剤





ROYAL VENOM

Cover	Type	Core	RG(15P)	ΔRG(15P)	INTΔRG(15P)	Surface	Skid	Backend	Hook
PROPULSION MXV	HYBRID	TROX V3	2.480	0.056	0.000	3000 GRIT LSS	70	73	60

VENOM HYSTERIA

Cover	Type	Core	RG(15P)	ΔRG(15P)	INTΔRG(15P)	Surface	Skid	Backend	Hook
PROPULSION MXV	PEARL	GEAR	2.480	0.034	0.000	5000 GRIT LSS	74	77	53



ボールの評価

VENOMシリーズは、扱いやすいコア数値と安定したボールリアクションを特徴とし、幅広いコンディションで使用できるMOTIVを代表するシリーズです。今回の「ROYAL VENOM」はEJタケット監修による来日記念モデルで、そのVENOMらしい扱いやすさを残しながら、シリーズの対応領域をさらに上へ広げたモデルと言えます。カバーにはPropulsion MXV Hybrid Reactiveを採用。VENOM HYSTERIAに搭載されたPropulsion MXV Pearl Reactiveと同系統ですが、今回はHybrid化され、さらに3000 Grit LSSで仕上げられています。VENOM HYSTERIAはフロントでの走りが良く、ミッドからバックエンドへスムーズにつながる扱いやすさが印象的でしたが、ROYAL VENOMはそれより明確にオイルを捉えますが手前から必要以上に噛むタイプではなく、ミッドレーンでキャッチは強くなり、オイルの中でも軌道を安定させやすくなっています。
そして大きな違いとなるのが、新開発Torx V3コアです。15ポンドでRG2.480、ΔRG0.056という数値は、VENOM HYSTERIAのGearコアが持つRG2.480、ΔRG0.034と比較してもフレアポテンシャルの違いは明確です。低RGによって早い段階から回転を作りながら、大きなフレアで常に新しいカバー面をレーンへ接触させるため、ミッドレーンでの存在感は非常に強く感じます。それでいて対称コアらしく軸の安定感があり、バックエンドだけが急激に反応するのではなく、キャッチしてから長く曲がり続ける印象です。
VENOM HYSTERIAとの比較では、走りと軽快さを生かしてミディアムからライト寄りを攻略するVENOM HYSTERIAに対し、ROYAL VENOMは一段多いオイル量の中から使用でき、ミッドレーンをしっかり作りながらバックエンドまで曲がりを継続させるタイプです。VENOM HYSTERIAでオイルに押され始める場面でもROYAL VENOMならラインを内側へ取り、オイルを使ったライン構成が可能になるでしょう。今回のROYAL VENOMは、単純に「強いVENOM」を作っただけではありません。VENOMらしい扱いやすさを継承しながら、これまで以上に強いコンディションへ踏み込める、シリーズの新しい上位ポジションを担う一球と言えるでしょう。

特記事項

Propulsion MXVの走りを残したHybridカバーと、フレア量を大幅に高めたTorx V3の組み合わせによって、キャッチ力、安定性、そして曲がりの持続性を高い次元で融合しています。